

「人生を豊かに！映画から見つめる、本当のシアワセとは？」

はじめに

「映画とはなんだろう」－ 映画館に生まれて 28 年。映画は私にとってあまりにも近い存在ですが、いつも考えていることです。娯楽、芸術。。。実はたった 2 時間ほどで人生を変えるぐらいの感動を与えてくれるものでもあります。

この講演で映画のよさを再発見し、あなたの人生が少しでも豊かになればと思っています。

1、現代社会、物質的に恵まれている社会の中での、精神的な豊かさ、幸せとは？

現代社会・・・昔よりも格段に豊かになっている。

豊かになったからこそその不幸がある？ cf 私の子ども時代の話。。

心が満たされない。今起きている事件など。。満たされていたらおきるわけがない！

物質的に豊かになっても、本当に幸せではない CF 食糧難の時代とか。。ではない。

⇨精神的にも満たされることが重要

精神的に満たされるってどういうこと？

感動したり、生きる糧になる喜びを感じる。物質を手に入れるということ以外での喜び。

物質的な豊かさは映画の世界でもいえること

映画人口は数年前から増加していないにも関わらず、全国にシネマコンプレックスが作られ飛躍的に劇場数が増えた。その数に比例して上映作品数も増大し、地方の既存館は閉鎖に追い込まれ、映画館がない都市も出てきたほどである。しかし実は福井県は人口当たりの映画館数が全国で一番多い都市。現在福井で上映されているのは 30 作品ほど。毎週 7 作品以上新たに公開されており、毎日 1 作品ずつを見ても時間が足りないほどである。そしてここ最近の顕著な変化は、日本映画の製作本数がインドに次いで世界第 2 位と膨大なものとなっていること。興行収入が殆ど変わらないところでの製作本数の増加は、粗悪な作品の大量生産に繋がっている。そして劇場で見られる以外にも古今東西の作品は DVD、ビデオなどで年々増産されてゆき、テレビでは毎日何作品も放映されている。つまりここでも作りっぱなし流しっぱなしの、観客に無責任な状態がおこっている。そして、映画の情報自体がネットなどを通して増幅していく。評価一つとっても、何を信じればよいのか分からなくなる。

○ 映画の年間上映本数（福井）・・・調べる事

週に何本上映・・・調べる事 → 福井は恵まれている。(物質的に)

・・・しかし一日一本見ても足りない。上映本数が多い中で決めるのが難しい状況・・・
選べない不幸。

2、映画とはどういうもの？

→ 新たな自分と出会う！心を満たしてくれるもの。

- 総合芸術・・・映像、音楽、ストーリー。
- 2時間で人生を変えるような喜び、感動、その他の新しいものとの出会い、新しい自分を見つける手助けをしてくれるもの。心の中での対話

→幸せになるための”きっかけ”をつかめるもの

- 経験を追体験、体験できるもの。→ 自分たちの幸せを考えられる。
- 別の世界を見せられる、2時間で体験させてくれること。その中で、人生とは？。。
エッセンスをくれること。
- 映画、、人生を豊かにするものである。

いい映画、質がいい映画とは、人を幸福にさせる映画。

幸せになる切欠をあたえてくれるもの

3、幸せのきっかけをつかむためのコツとは？

・・・実はレストランと一緒に？

心が空っぽ。。 外食に行くのと実は同じような感覚

4つのポイントがあります！

- ◇ 1. 体調に合うか→自分の欲している感覚は何か
 - ◇ 2. 何を食べたいか →何の作品を選ぶか
 - ◇ 3. どこで食べるか→どの映画館を選ぶか
 - ◇ 4. 食べ方は → どのような心持で映画を見るか。
- ◇ CF おうちでの食事→自宅で映画を見る・・・予想外のことが起きにくい。家で見るのは楽だけれど。
- ⇔
- ◇ ★映画館で見る良さとは？(DVD などみて、スクリーンで見たかったと思う作品もあるのでは？)
- 感動の度合いが違う。
- 音やスクリーン こだわっている。
- 2時間集中できる。 お金を払っているから集中する。この機会しかないとの緊張感。
- 映画はもともと映画館で見るように作られている・・・EX サンプルビデオの話
(テレビで映画を見ると、テレビ番組になってしまう)

自分視点
外食
映画

自分視点

4、映画の選び方のコツ

→メトロ劇場とは？映画の楽しみ方とは？

- ◇ 1. 体調に合うか→自分の欲している感覚は何か
- ◇ 2. 何を食べたいか →何の作品を選ぶか
- ◇ 3. どこで食べるか→どの映画館を選ぶか
- ◇ 4. 食べ方は → どのような心持で映画を見るか。

○ 映画は多くの情報を与えてくれるわけだけれど、それをより吸収を浴するためには？>>実践てきな映画の見方。メトロの特等席はどこか？

○ 実践的な楽しみ方は？・・・座席、みんな好みのシートがある。感動の仕方が違うよ。→画像をとること

○ メジャー映画と単館映画の違い

様々な価値観 広告費メジャー メジャー大衆向け。

よりすべての人に感動なりを与えようとして作られたもの。

本当に自分にぴったり来るかは疑問。単館映画は様々な国、個性も豊か。

より自分に本当にぴったりするものに出会えるかもしれない。

より感動を享受しようと思ったら適当な映画選択かは疑問。

○ 情報誌などで映画の選択をするけれども、広告を多くかけている映画がいいとも限らないし、口コミが本当に信用できるかも分からない。

○ →自分の直感を信じて選ぶこと。自分との対話で選ぶこと。

○ 他の映画館とは違うところ、独自の特集、クラシックの映画など。

→新たな視点を提供しているので、こういう特集などは見逃さないほうがいい。

(クラシック、、、残っていることがすごい。消えていく作品が圧倒的に違う。TVと映画館での違い。>>感動の度合いが違う。音の調整。映画は映画館で見るように作られている、映画館でみてね！

○ 映画館では、どうやって映画を決めているのか。

→他館は系列。メトロは独立系。自分で番組を決めている

→決めている中でも独自のアンケート方式。企画とか。

アンケートの前に膨大な映画の中からアンケート作品を選んでいる。

→自分たちのプライドにかけて。

アンケートに参加することも実践的な楽しみ方のうちのひとつ。

5m/s
10/11
20m/s
30m/s

10
11
12

19x

10/11
12/13
14/15
16/17
18/19
20/21
22/23
24/25
26/27
28/29
30/31

25年12月
メロ館
20年

月50本1800円

10月0円

136円

10年の歴史

10/11

10/11
20/21

- 特集、クラシックの映画を企画上映。>>これまでの資料を！
→特集にはメトロ独自のものと、上映会方式、一緒に市民活動としての上映会
メトロ企画以外のものは、その上映会の主催などが主役。能動的な楽しみ方。
- 誇りを持って、映画館として映画を映している。選んでいる。

5、さらに、一步進んだ 映画との関わり方

☆ ”見る”、”作る”、”見せる” が 芸術活動

映画を見ること。・ ・ 受動的 見る側以外の関わりあい方があるよ！

⇔能動的な方法は？

- 作る喜び・ ・ ・ ・ EX 戸田監督。→資料添付
- 提供する側・ ・ ・ ・ 靖国 上映会で意思を表現する。
映画を手段にする。新たな喜び

↑能動的に動いていくことで社会は変わっていく。

自分が参加している感覚、街の活性化。上映会開催は昔より垣根が低い。

6、最後に

- 幸せとは？不況、情報が沢山ある中で、なんだろう？幸せは何か、分かりにくくなってしまう。実際にその社会情勢にあわせた映画、疑問に何らかの答えをくれる作品も多数あります。
- 本当の幸福とは・ ・ ・ 私自身が実際は求めている人間。こんなテーマにしたけれども。求めている人間だから、そういう人間が選んでいる映画。私自身がこのよで、一番求めている命題なのかもしれない。そんな人間が映画を選定し、映している。そんな映画館。メトロのスタンス>>人生の喜び、芸術とはそういうもの。そういうことを見たいし、学び取りたいし、良質なものの提供したいし、みんなに見てもらいたい、そんな気持ちでやっている。>>映す側も考えたいからということ。
- みんなの意見を取りいえて、一緒に日々映画館を作っている感覚でやっている、→これ自体が私にとっては幸せだ～。